

第9回

奈良のお薬師さん大賞

受賞者 活動内容紹介

この賞は、飛鳥時代以降に奈良をはじめ各地に造立された薬師像の姿になぞらえ、県民を身体や心の病の苦しみから救ってこられた方々を「奈良のお薬師(やくし)さん」として顕彰するもので、平成27年度に創設されました。地域の医療・介護業務を通じて県民の生活の向上に尽力してきた方々を対象としています。

(令和5年12月16日現在)



いちむら ゆみこ
市村 由美子さん

東大寺福祉療育病院 看護育成局長
(奈良市在住)

昭和53年から約45年間、急性期や慢性期、障害児に対して看護職としての経験を積んでこられました。特に障害のある人が地域において安心して生活できるための支援について学び、現在の東大寺福祉療育病院では、長期入院中の重症心身障害児童が併設した学校で安心して授業が受けられる環境づくりや看護師による見守り、学校へ行くための体調の整え方についての指導を続けておられます。また、障害を持ちながら在宅生活のなかでの急変時の入院体制づくりや、今後予想される状態等について、家族を交えた連携体制の取り組みを進められており、社会全体で障害児や家族を支える体制づくりにご尽力されています。



よしだ みか
吉田 美香さん

医療法人榎の木会 さわやか歯科 院長
(橿原市在住)

近年、大きな社会問題となっている児童虐待に対して、歯科医師の立場から多様な支援活動を行っておられます。平成23年に奈良県より依頼された歯科医師向けの「児童虐待予防マニュアル」作成や普及に努めるとともに、児童養護施設や認可外保育施設等への歯科ボランティアを実施したり、育児に悩む保護者の支援として管理栄養士を交えた親子料理教室を開催したりするなど、地域における児童虐待防止に積極的に取り組まれております。また、インクルーシブ診療や長期在宅療養児の訪問診療など、障がい児の歯科治療についてもご尽力されています。



よしむら あつし
吉村 淳さん

南和広域医療企業団
南奈良総合医療センター 副院長
(橿原市在住)

南和地域において長年「がん診療」の充実に取り組んでこられました。がんの診断治療が地域で安心して受けることができるように診療体制を整備し、緩和医療の普及とチーム医療の推進に取り組まれました。禁煙外来を開設して禁煙の支援などを行なってこられました。近年重要視されている口腔ケアにも目を向け地域歯科医師会との協力体制の構築にも努められました。また、「災害医療」においては、南和地域の災害拠点病院である南奈良総合医療センターの災害対応責任者として、地域の災害対応能力の向上にも尽力されております。「がん」「災害」に関する市民公開講座や出前講座などによる啓発活動、医療者を対象にした研修会なども積極的に行ってこられました。

あしたのなら表彰 ならビューティフルシニア表彰 奈良のお薬師さん大賞 表彰式

日時

令和5年 12月16日(土)

開場 9:00 開会 10:00

会場

奈良県コンベンションセンター
会議室 204

主催：奈良県

プログラム

| | | |
|-------------|-----------------|---|
| 10:00~11:05 | 開会 | ※表彰式の時間は、前後する場合があります。 |
| | | ◆開会・主催者挨拶・出席委員紹介 ◆ならビューティフルシニア表彰 コンテスト ◆あしたのなら表彰 活動発表 ◆奈良のお薬師さん大賞 活動発表 |
| 11:05~11:35 | 休憩 (30分) | |
| 11:35~11:55 | 表彰式 | ◆表彰状・副賞授与、花束贈呈 ①奈良のお薬師さん ②あしたのなら ③ならビューティフルシニア ◆最高感動賞の発表 |
| 11:55~12:05 | 閉会・写真撮影 | |

第14回 ならビューティフルシニア表彰

受賞者 活動内容紹介

心身ともに健康で、若々しく、積極的に社会活動を行い、年齢を重ねた「美しさ」を感じさせ、あのような人になりたいと憧れるようなシニアとして選考委員会で選考された方の舞台発表を行い表彰します。
(令和5年12月16日現在)



文化芸術賞
たけだ かよこ
武田 佳代子さん
97歳 奈良市在住

独居高齢者の居場所づくりを目的とした交流会「あしびサロン」を立ち上げ、毎週火曜日に活動を実施されています。サロンではクイズ係として1時間の担当を持ち、テレビ等でクイズのネタを探すほか、自らも問題づくりに励んでおられます。使用後の資料は包括支援センターに寄贈して再利用されています。問題づくりは「生きがいであり脳トレになる」と生活の一部になっています。

第14回 あしたのなら表彰

受賞者 活動内容紹介

特定の分野や年齢、経験年数にとらわれず、奈良のPRや魅力向上に大いに寄与する活動や、県民に元気や感動を与えてくれるような活動を行っているものとして、選考委員会で選考された個人または団体を表彰します。
(令和5年12月16日現在)

まつい ゆいか
松井 唯郁さん
奈良市在住

2023年5月平城京天平祭にボランティアで初参加した経験から、奈良時代・天平衣装の魅力を国内外のSNS世代に伝えたいと思い、在学中の大学で行うイベント「天平祭×同女コレクション」を企画されました。同年7月、留学生らも交えて開催された天平ファッションショーの様子は、大学公式YouTube「ビビッと同女スタジオ」や、広報誌「Vine(ヴァイン) Vol.94」で取上げられ、学内外に広く紹介されました。

たかはし ひろし
高橋 寛さん
88歳 御所市在住

高校生時代に野球部として甲子園に出場した経験から、令和4年に母校野球部OB会からマスターズ甲子園への参加を依頼され、55年ぶりに試合に出ることを決意されました。毎日練習を重ねた結果、試合当日は大会最年長者として参加し、勝ち越しとなる安打を放ちました。その他、地域活動として「市民憩いの広場」にてボランティア活動に携わり、草刈や花の世話を行われています。

ながおか ただやす
長岡 忠保さん
85歳 奈良市在住

高齢者が家に閉じこもることなく気軽に参加できる居場所として、「健康体操クラブ」や「よってって茶論」を立ち上げ、活動されています。今年度からは年齢に関わらず誰でも参加できる交流の場「なごみの森」を開設されました。その他、地域の団体役員を務め、子供の登下校の見守り活動を行っており、これらの活動を継続するため週3~4回スポーツジムに通われています。

まつばら じゅん
松原 純さん
奈良市在住

インバウンド客にも奈良の魅力を伝えるため、2年間オーストラリアへ語学留学し、帰国後は奈良市の宿泊施設に就職して、インバウンド客とコミュニケーションを取りながら奈良の魅力を伝えておられました。Nara観光コンシェルジュや観光ガイドとして活動を行うほか、YouTubeやSNSを使った魅力発信活動や映像クリエイターとしても幅広く活動されています。

にんてい ほうじん
認定NPO法人 おてらおやつクラブ
田原本町所在

お寺に集まるたくさんの「おそなえ」を、子ども支援団体やさまざまな事情により困窮するひとり親家庭へ「おすそわけ」することで、子どもの貧困問題の解決に寄与する活動をされています。現在は全国1,961ヶ寺の寺院と766の支援団体、9,449世帯(2023年11月時点)のひとり親家庭がおてらおやつクラブに登録し、毎月のべ27,000人の子どもたちに食品や日用品を届けられています。

あべ かずお
阿部 和生さん
83歳 奈良市在住

2001年「奈良・人と自然の会」設立に参加し、2代目会長や顧問を務められました。森林インストラクターとして里山整備を推進されました。平成29年には地区老人会「神功いちよんクラブ」を設立し、地域の景観整備や親睦会、文化作品展などを実施し、代表世話人として基礎を固めました。現在も機器扱い指導や実践活動を行い、企画書作成から実施に至るまで担当するなど世話人として活躍されています。

ひがしぐち よしこ
東口 芳子さん
78歳 田原本町在住

田原本町母子寡婦福祉会の繋がりを継続できるよう、年間行事として趣味と学びの集いや、町道の花壇の世話等を行っておられます。その他、いきいき百歳体操の世話役や、いきいき百歳体操団体の交流会実行委員を務め、介護予防の推進に尽力されています。また、一人暮らしの高齢者に手作り弁当を届ける「ふれあい給食」活動や、特別養護老人ホームでのパート勤務を行っておられます。